

1 目的

本校の入学者は、非農家出身の割合が増加する中、経営基盤の整っていない学生の間では、専門的な知識・技術を生かせる場としての農業法人への雇用就農に対する関心が高まっている。

そこで、就農・就業相談会等への参加を通じ、農業法人の理解促進を図り、非農家出身の学生を主とした雇用就農への意欲喚起及び就農促進を図る。また、先進的な農業経営を行っている農家や農業法人の取り組みについて、経営者の講話や現地視察を通じて、理解促進を図り、就農対策の一助とする。



就農・就業相談会

2 実施状況

(1) かがしま就農・就業相談会での相談活動

- ・1年生にとって初の本格的な就職活動であり、進路選択に当たっての有効な情報収集活動となった。

(2) 先進農家等による講話

ア 邊田孝一氏（農学部対象）

- ・これまでの6次産業化などの経験、体験談は、学生の今後の就農への目標達成のために有益なものとなった。



邊田孝一氏の講話

イ 福留洋一氏（畜産学部対象）

- ・ドイツでのフライシュマイスターを取得のための7年間の修行や帰国後の加工・販売などの取り組みは学生の今後の就農への目標達成のために参考となった。



福留洋一氏の講話

(3) 先進農家等の視察研修

就農時に農産物の販売等での活用を図るため、福岡県における直売所や食育体験施設で、6次化産業や農業や食、農村について消費者に理解を深めるための活動など、取り組み状況について様々な先進事例の研修を行った。

今後地域を支えていく学生にとって、今ある資源を活かして、地域を活性化する手法など非常に参考となった研修で、成果の出ることが期待できる。



福岡県での先進事例研修

3 今後の課題・取り組み

今後も引き続き、本県の農業を担う人材の育成・確保を図るために、本事業を活用し、就農促進のための取り組みの充実・強化を図る。